

# 瑞浪市公共施設等総合管理計画

## 個別施設計画

### 【その他施設】

#### ② その他施設

(瑞浪駅周辺施設、市民公園レストハウス)

(第1期第5版)

令和6年3月

瑞浪市建設部都市計画課

## 目 次

1. 計画の策定について	1
(1) 計画策定の趣旨	1
(2) 計画の位置づけ	1
(3) 対象施設	1
(4) 計画期間	1
2. 現状と課題について	1
(1) 個別施設の状態等	1
3. 計画策定方針について	2
(1) 基本方針	2
(2) 対策の優先順位の考え方	2
4. 具体的な取組内容について	2
(1) 対策内容と実施時期	2
(2) 対策費用と今後の方向性・スケジュール	3

### 改訂履歴

初版	平成30年2月
第2版	令和3年3月
第3版	令和4年3月
第4版	令和5年5月
第5版	令和6年3月

## 1. 計画の策定について

### (1) 計画策定の趣旨

瑞浪市で所管する瑞浪駅周辺の瑞浪駅前東屋、瑞浪駅前トイレ、浪花駐車場トイレ、瑞浪駅地下自由通路エレベーター及び市民公園レストハウスについて、市民サービスの向上と、安心して利用できる施設環境を維持していくために、個別施設計画を策定します。

### (2) 計画の位置づけ

本計画は、「瑞浪市公共施設等総合管理計画」の個別施設計画として位置づけています。

### (3) 対象施設

本計画の対象施設は、平成26年度（2014年度）に整備した固定資産台帳による5施設です。

対象とする施設

中分類	小分類	施設数	施設名称
その他施設	その他施設	5	瑞浪駅前東屋 瑞浪駅前トイレ 浪花駐車場トイレ 瑞浪駅地下自由通路エレベーター 市民公園レストハウス

### (4) 計画期間

本計画の期間は、「瑞浪市公共施設等総合管理計画」の個別施設計画という位置づけから、平成29年度（2017年度）から令和8年度（2026年度）までの10年間を第1期とし、ローリングします。

なお、5年ごとに見直すことを基本している瑞浪市公共施設等総合管理計画と整合を図っていきます。

## 2. 現状と課題について

### (1) 個別施設の状態等

利用者の安全を確保するために、これまでも必要に応じて施設の修繕等を行ってきています。

今後も計画的な整備が必要な状況となっています。また、点検・診断については、職員による目視点検を実施するほか、改修が必要な施設について、基本設計等に包含して実施します。

施設の状態等は以下のとおりです。これまで実施した施設更新内容はありません。

施設名	建築年度	延床面積	構造	老朽化率
瑞浪駅前東屋	H19（2007）年度	12 m <sup>2</sup>	鉄骨造	38.7%
瑞浪駅前トイレ	H16（2004）年度	40 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート造	39.5%

施設名	建築年度	延床面積	構造	老朽化率
浪花駐車場トイレ	H25（2013）年度	8 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート造	15.8%
瑞浪駅地下自由通路エレベーター	H16（2004）年度	14 m <sup>2</sup>	鉄骨造	88.2%
市民公園レストハウス	H5（1993）年度	161 m <sup>2</sup>	軽量鉄骨造	100.0%

※令和元年度（2019年度）固定資産台帳によるデータ

### 3. 計画策定方針について

#### （1）基本方針

引き続き市民が安心して利用することができる施設として維持します。瑞浪駅周辺再開発に合わせ、集約化、複合化・多機能化を図ります。

#### （2）対策の優先順位の考え方

施設の整備を進めるにあたり、利用者の安全の確保やニーズへの対応など現状と課題について、次の視点から総合的に検討し、取り組みを進めていきます。

##### ○利用者の安全の確保

施設に著しい老朽化が見られる、災害に関するリスクが高い要因があるなど、施設や立地に起因する課題を抱え、利用者の安全を確保する上で、課題のある箇所については、その解消を図るため優先的に取り組みます。

##### ○財源の確保

国及び県等の補助事業や起債などの財源が活用できる施設整備については、活用できる期間等を考慮し、優先的に取り組みます。

##### ○費用対効果

施設整備に伴う費用と、整備により得られる歳出削減額の効果を検証します。

### 4. 具体的な取組内容について

#### （1）対策内容と実施時期

老朽化をはじめ、施設に課題を抱えている箇所は改修を行うこととします。市民公園レストハウスは、博物館等の再編に合わせ、複合化を検討します。駅周辺施設については、バリアフリー施設をはじめ、市民サービスに必要不可欠な施設のため、可能な限り今後も予防保全を行い、施設の長寿命化を図ります。また、基本方針のとおり瑞浪駅周辺再開発に合わせ、集約化、複合化・多機能化を図ります。

(2) 対策費用と今後の方向性・スケジュール

施設名	建築年度	耐用年数	使用目標年数	今後の方向性	実施年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
瑞浪駅前東屋	H19	31		瑞浪駅周辺再開発に合わせ適正規模・集約化を検討。	対策内容									改修設計	改修工事
					対策費用										0.5
瑞浪駅前トイレ	H16	38		瑞浪駅周辺再開発に合わせ適正規模・集約化を検討。	対策内容									改修設計	改修工事
					対策費用										2
浪花駐車場トイレ	H25	38		瑞浪駅周辺再開発に合わせ適正規模・集約化を検討。	対策内容									改修設計	改修工事
					対策費用										0.3
瑞浪駅地下自由通路エレベーター	H16	17		機能維持。駅周辺再開発事業に合わせて更新。	対策内容										
					対策費用										
市民公園レストハウス	H5	25		複合化	対策内容		改修工事								
					対策費用		11								

・施設の法定耐用年数を超えて延伸させることを目的とした長寿命化改修を行う場合は、施設の使用目標年数とその必要性を記載すること。

・対策費用の単位は、百万円とすること。(対策費用は概算であり、変更する場合がある)